

***** The Future We Want

Name : H.F Age : 12歳 Date : 5月10日

こんにちは。 H.F です。

普段は日本の日能研という塾の戸塚校に通っています。

私は、セヴァン・スズキさんのように素晴らしい演ぜっけできませんが自分なりに考えたので、私の考えをみなさんに伝えます。

私は、「地球市民のみんな平等な日本」にしていきたい。今、木材を家を建てるためなどによって、ばっさいし、環境はかいかが進んでいっている。そんなことをしている人間は、自然を自分とちがうものだ”と考えている。

私はそういう風に差別するのがイヤだ。私が前聞いたことで、ある学校はその学校がある県以外から受けて受かる人は□人と決めているそうた。

たしかに、通学という問題もあるかもしれない。しかし、私はそのことを差別していると感じた。もし、差別していないとしたら、なぜ県ごとで受かる人数を決めているのだろうか。全員の点数で、「この子は受かるかどうか」とかを決めればいいじゃないか。やはり、矛盾してしまうので、差別しているのだと思う。私は、差別することがイヤなので、「平等」がいい。では、「地球市民」とは何だろうか。私が考える「地球市民」とは、地球にすむ自然や人間などの生物のことだ。また、「平等」とは何だろうか。私が考える「平等」とはみんなが同じ位で上、下かないことだ。たとえば会社には社長と部下がいる。位はちがう。しかし、それは仕事での話なのではないかと思う。そういう平等は私にとってあたり前のことだ。もし、平等でなかったらどうなるのか。仕事が楽な人として苦勞してやる人の差や、食料の差で死亡する人が増えてしまう。また、戦争がおこってしまう。たとえば、仕事をしても苦勞してやった人と楽に

***** The Future We Want

やった人の給料が同じだったとする。そして、
苦勞してやった人は不満が高まってくる。

「なぜ自分たちはこんなに苦勞をしているのに、楽に
やっている人と同じ給料なんだ？」と、制度を変える
べきだ！」そして、戦争につながってしまうと私は
思う。では、日本の昔は平等だったのだろうか。

私は、たしかに縄文時代は身分がなかったのが
平等だと思う。しかし、弥生時代からはちがう。
たとえば、戦国時代。農民と武士という差があった。
また、農民に対して、地頭が乱暴な行い
をした。下剋上があった。したことから、
差があったといえる。それに対して、日本の今は
平等なのだろうか。私は、今も平等では
ないと思う。たとえば、男子校と女子校
のように、男と女の差がある。また、私の
イメージがもしれないが、社長には
男が多いと思う。

なぜ男は出世しやすく、女は出世
しにくいのだろうか。そこに差別が
あるのだ。これからは、貧しい人に富んで

***** The Future We Want

いる人が、食料・金・服などを自由に
わけあたえるようにしていけばいいと
思う。この考えは、セヴェン・スズキさんの
考えでもある。そうしたら、人と人との差が
ちぢま、ていくと思うのだ。

私が創りたい未来とは、自然と生物が
共存する未来だ。そのためには、立場が
ちがう生物同士、協力していかなないと
いけない。立場がちがう生物とは、
たとえば、アメリカ人と日本人、バッタと
かぶと虫、さらには日本人とゴキブリだ。
日本人は家でゴキブリを見つけると、
すぐつかまえて殺そうとする。ゴキブリに
だって日本人と同じかけがえのない命が
あるのだ。それなのに、日本人は1つの命を
簡単にムダにしている、「共存する」とはいえない。
また、自然も生物も同じ地球市民なのだ。
仲間と共存しないとはおかしいことじゃないか。
さらに、仲間と共存していくためには森林に
人間がふれるということをするればいいのだ。

***** The Future We Want

たとえば、休日に家族で森林にでかけて
みることだ。森林で魚釣りや昆虫採しを
すればいい。そうすると、森林だけで
なく、魚・川・虫とふれることができる。

しかし、今の日本はそれが難しい。

なぜなら、いそがしすぎて休みがとれない

からだ。だから、もう少しゆくりしてみても

いいんじゃないかと私は思う。たとえば

土日出勤なしや夜9:00以降は家に

帰るとかを決めれば、いいと思う。

そのために、今自分ができることは何か。

私は、同じ人間同士協力し合い、差別しない

ということだ"と思う。また、環境はかいに

つなかることをしないのもある。たとえば、

温暖化をふせぐために、車を使いきない。

砂漠化しないために、木材をていねいに

あつかい森林のは、さいをふせぐ。

魚が死ぬのをふせぐために、家庭から

油などの有害なものを出さない。そして

これから私たちはどうすればいいのか。みんなで

他の生物を尊重することがある。単純だが、
ありをふまないということも入る。なぜなら、むやみに
他の生物を殺さないことにつながるからだ。
また、前に書いた森林に行くということも入る。
さらに、環境はかいをやめるということも入る。
そして、一番大切なのは人間が考え方を変わると
いうことだ。「みんな平等」という考えがみんなにできれば、
世界はかわる。一人がかわらなければ、世界は
かわらない。いまで世界がかわってきたことは、一人が
かわったことから始まったのだ。私は、この文章を
読んでいる人一人一人に考え方をかえてほしい。
多分、みなさんはえらい人なので、「みんなより位が
上だ」と思っている人もいるかもしれない。しかし、
そういう考えは私の考え方に反している。私が
説明した「今、自分ができること」と、「これから
私たちは、どうすればいいのか。」は似ている
ようにちがう。「今」と「これから」のちがいでではなくて、
「自分」と「私たち」のちがいだ。または、IとWe。英語に
なると、ちがいがわかる気がしないか。たしかに、ちが
いはあるのだ。そのようなことをふまえて、「地球市民

のみんな平等な日本」になってほしい
と私は思う。そして、みなさんに
世界を変えてほしい。

最後まで、私の考えを読んで
くださり、みなさんありがとう
ございました。私は自分の考え
が、みなさんに伝わるとうれし
いです。